

令和5年度第1回習志野市産業振興審議会 会議録

1 開催日時 令和6年2月8日(木)午後7時00分～午後8時30分

2 開催場所 習志野市庁舎3階 大会議室 A・B

3 出席者

【会 長】	習志野商工会議所	竹谷 嘉夫 氏
【副会長】	習志野市商店会連合会	司茂 和彦 氏
【委 員】	千葉みらい農業協同組合	櫻井 孝則 氏
	連合千葉総武地域協議会	上田 健治 氏
	習志野市工業地域団体連合会	高橋 博雅 氏
	習志野市まちづくり観光推進協議会	金子 正 氏
	千葉県中小企業診断士協会	川村 浩司 氏
	日本大学生産工学部	山岸 輝樹 氏
	東邦大学理学部	佐藤 文明 氏
	千葉工業大学情報科学部	熊本 忠彦 氏
	市 民	今井 克一 氏
	市 民	不動 早苗 氏
市 民	伊藤 薫 氏	

【オブザーバー】

習志野商工会議所	山野井 武 氏
----------	---------

【事務局】	協働経済部	部長	根本 勇一
	協働経済部	次長	小倉 一美
	協働経済部(産業振興課)	課長	大竹 博和
		主幹	森川 善文
		係長	小野瀬 悠一
		係長	石橋 正崇
		係長	吉野 広美
		主任主事	高橋 良介
		主事	石井 祐二郎
		主事補	大森 葉

4 議 題

- (1) 会長の選出
- (2) 副会長の選出
- (3) 会議の公開(非公開)
- (4) 会議録の作成等
- (5) 会議録署名委員の指名
- (6) 報告
 - 1) 令和2年度～4年度における産業振興関係事業の実績報告
- (7) その他(事務連絡等)

5 議事内容

(1) 会長の選出について

【事務局／小倉次長】

はじめに、習志野市産業振興審議会規則第2条の規定に基づき、会長の選出を行う。

本審議会は、会長及び副会長を1名ずつ置くこと、また、会長及び副会長は、審議会において互選することが定められている。

まず、会長の互選方法について、ご意見伺う。

【川村委員】

委員名簿を拝見したところ、新任または2期目の方がほとんどで、参加経験があるのが私だけになっていることから、僭越ながら参考意見を申し上げます。前回令和元年度の際の会長の互選方法を踏まえて、今回も前回同様に指名推薦がよろしいかと思う。

【事務局／小倉次長】

ただ今、指名推薦とのご意見をいただいたが、他にご意見を伺う。

≪ 意見なし ≫

他にご意見がないようなので、お諮りする。指名推薦との御意見があったが、指名推薦によって行うことに御異議ないか。

≪ 異議なし ≫

異議なしと認める。

よって、互選方法は指名推薦により行うことと決する。それでは、会長はどなたがよいか、ご意見伺う。

【川村委員】

これまで、産業振興や地域活性化などの習志野市産業振興基本条例の趣旨に鑑み、市内事業者と密接に関わり、地域経済の発展に取り組んでいる習志野商工会議所からの推薦委員に、会長を担っていただいた経緯がある。

今期は、次期産業振興計画の策定もあることから、市内の産業振興の取組や経済状況をよく御存知である習志野商工会議所からの推薦委員の方が会長として適任かと考える。

したがって、竹谷委員を会長に推薦する。

【事務局／小倉次長】

ただ今、竹谷委員を推薦とのご意見をいただいたが、他にご意見を伺う。

《 意見なし 》

他にご意見がないようなので、お諮りする。竹谷委員が適任ではないかとの御意見があったが、竹谷委員に会長をお引き受けいただくことで、御異議ないか。

《 異議なし 》

異議なしと認める。

よって、会長は竹谷委員とすることに決する。会長に就任される竹谷委員、一言御挨拶願う。

【竹谷会長】

今回、会長を拝命した、習志野商工会議所の竹谷嘉夫です。実働で事業をしており、最近では司茂委員とともに実働のまちおこしを一生懸命行っている。

昨年もイベントとしてマルシェを実施しており、それ以外ではラーメンカーニバルというイベントも企画して実施した。習志野市をもっと盛り上げたい、自分が仕事をしている街なので、なるべく産業が発展して、周りから注目されるような、そんな市になったらいいなという思いの元で活動している。そんな中で、こうして審議会委員をやらせていただき、会長を拝命させていただいた。習志野市のためになれるよう、少しでも頑張っていきたい。

【事務局／小倉次長】

それでは竹谷会長、会長席へ御移動願う。

ここからの進行は、会長にお願いする。

【竹谷会長】

それでは会議を進めさせていただく。

本日は、議事次第に沿って、事務局から説明していただき、その後、委員の皆さんから、御意見をいただく形で、会議を進めたいと思う。限られた時間の中で、円滑な会議を進めていきたいと考えているので、会議の進行に御協力願う。

(2) 副会長の選出について

【竹谷会長】

次に、副会長の選出となる。

副会長の互選方法だが、どのようにするか。ご意見伺う。

【川村委員】

会長一任がよろしいかと思う。

【竹谷会長】

他にご意見はあるか。

《 意見なし 》

意見なしとのことで、お諮りする。ただ今、会長一任との御意見があつたが、御異議ないか。

《 異議なし 》

異議なしと認める。

よって、副会長の選出方法は私からの指名と決し、習志野市商店会連合会からの推薦委員である司茂委員を指名する。それでは、司茂委員、一言御挨拶願う。

【司茂副会長】

ただ今ご紹介あずかった商店会連合会理事、ならびに実籾駅前商店会会長の司茂です。竹谷会長からの御指名であるので、僭越ながら務めさせていただきます。

先ほど、竹谷会長からも話があつたように、実籾を盛り上げる、習志野市を盛り上げるために実籾を中心にマルシェというものを実施している。

また、習志野市ふるさと産品という形では、金子委員とともに習志野市の良いものを育てるために、一緒に活動している。

今回、産業振興審議会委員に任命されたので、委員として習志野市の産業の発展のために尽力して参りたい。

【竹谷会長】

それでは、司茂副会長、副会長席に御着席願う。

(3) 会議の公開(非公開)について

【竹谷会長】

次に、会議の公開についてお諮りする。

本日の会議は、「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」により、原則公開となっている。ただし、内容により、公開・非公開の判断が必要となった際は、その都度お諮りすることとするが、よろしいか。

《 異議なし 》

それでは、そのようにさせていただく。

なお、本日の内容に非公開事項になると思われる案件はない。

また、傍聴者については、定員に達するまでの間は、入口でお配りした注意事項を守るようお願いした上で、随時傍聴希望者の入室がありますので、あらかじめ御承知おき願う。非公開となった場合は、指示に従っていただくこととする。本日は今のところ傍聴者はいない。

(4) 会議録の作成等について

【竹谷会長】

次に、会議録の作成等についてお諮りする。

会議録については要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、審議事項、会議内容、発言委員名及び所管課名を記載した上で、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて、公開したいと考えるが、これに御異議ないか。

《 異議なし 》

御異議ないようなので、そのように取り扱うことに決定する。

(5) 会議録署名委員の指名について

【竹谷会長】

次に、会議録署名委員の指名についてお諮りする。

会議録の作成に当たりまして、正確性、公正を期するため、会議録署名委員を私から指名させていただきたいが、御異議ないか。

《 異議なし 》

異議なしと認める。それでは、本日出席している名簿順に、櫻井委員、上田委員を指名させていただく。

(6) 報告について

【竹谷会長】

次に、報告事項に移らせていただく。

令和2年度～4年度における産業振興関係事業の実績報告について、事務局から説明願う。

【事務局／大竹課長】

まず、配布資料について確認させていただく。

資料①評価指標一覧。資料②新型コロナウイルス感染症等の影響に伴い実施した産業振興関係事業。習志野市産業振興計画。これらを基に説明を行わせていただく。

まず産業振興計画、34ページをお開きください。

本市では、産業の振興を図るため、産業振興計画を策定している。この産業振興計画は、本市の基本構想に掲げる「将来都市像」(目指すべき姿)を実現するために定めた基本計画の個別計画として位置付けられており、平成17年4月に施行された産業振興基本条例の「目指す方向」の施策を具体化し、着実に推進するための計画となる。現計画は、令和2年度から7年度までの6年間であり、「人々の声と足音が響くまち ～暮らしと産業の調和を目指して～」を総合目標として定め、以下に記載の7つの基本方針を定めているところである。この7つの基本方針に基づき、それぞれ成果指標、中間指標を定め、目標値を設定し取り組みを推進している。本計画が動き始めた令和2年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の流行により、経済の市民生活をはじめ、本市が実施する施策についても大きく制限されたところである。

続いて、計画書の37ページ、資料①の1ページ目をご覧いただきたい。

基本方針1の経営の安定化支援では、中小企業の育成、相談体制の充実、資金調達の支援を主な取り組みとして、その施策としては商工会議所補助事業、産学官連携事業、地域経済対策事業、習志野市中小企業資金融資制度、利子補給金、創業に係る相談窓口を実施しているところである。

成果指標の①「市内事業所数」は、目標値を大きく超えているが、令和元年度の経済センサスの基礎調査の方法が変更となり、これまでの調査では捉えられていなかった事業所を追加したことにより、増となっており、現行とは比較できない状況となっている。

成果指標の②「利子補給金交付事業者数」についても、目標値を超えているところである。主な取り組みの3. 資金調達の支援の現状で記載させていただいているが、感染症や原油価格、および物価高騰等の影響により、市内事業者への融資件数が大幅に増加したことにより、利子補給金も増となったところである。

続いて、計画書の41ページ、資料①の2ページをご覧ください。

基本方針2の商工業の振興では、地域と一体となったまちづくり、魅力ある商店街づくりの推進、付加価値の高いものづくりの支援を主な取り組みとして、その施策としては、商工会議所補助事業、商業活性化事業、商店街共同施設管理事業、産学官連携事業、工業活性化事業および習志野市中小企業資金融資制度等を実施しているところである。

成果指標の①「市内事業者数」は、先ほどの基本方針1の説明のとおりであるが、成果指標②の「市内法人数」については、本市の法人・市民税納税義務者数である。

また、主な取り組み②魅力ある商店街づくりの推進の、③「まちゼミを実施する商店会数」であるが、感染症により、商店街単位での実施から事業者単位での実施となったことから、現状数値としては34回と記載させていただいている。なお、基準値としている平成30年度については、38回の開催であった。

続いて、計画書の45ページ、資料①の3ページ目をご覧ください。

基本方針③の都市農業の振興では、農業従事者の確保・育成、市産市消の推進、市民が農業に親しむ機会の創出を主な取り組みとして、その施策としては、農業経営の効率化支援、地元農産物のブランド化促進、新規就農者の経営支援、各種イベントにおける地元農産物の供給、キャロット計画の推進、市営市民農園の運営等を実施しているところである。

成果指標①「認定農業者数」は、高齢による認定の見送りと新規認定農業者で横ばいとなっている状況である。なお、認定農業者とは、地域の実情に合わせた効率的・安定的な農業経営を目標に、5年間の農業経営改善計画を作成して、市等から認定された個人または法人である。

続いて、計画書の49ページ、資料①の4ページ目をご覧ください。

基本方針4の観光の振興では、観光力の強化、地域資源の活用、広域連携・交流を主な取り組みとして、その施策としては、観光資源の発掘、観光振興ツールの活用、まち巡りプログラムの充実、ドラマ・映画等のロケ誘致、ふるさと産品の充実と業者会の支援、ご当地キャラクター「ナラシド♪」の活用、都市間交流事業等を実施しているところである。

成果指標①「市内観光入込客数」は、感染症の影響により減となっており、成果指標②「市内宿泊客数」は、コロナ禍にあったものの、令和2年に京成津田沼駅前のビジネスホテル、ならびに新習志野駅前に宿泊温泉施設が開設したことにより、増加している状況となっている。

主な取り組み③、広域連携・交流の②千葉おもてなし SHOP ガイドの登録店舗数であるが、

東京オリンピックのインバウンドを目的として令和2年度に立ち上げるも、東京オリンピックが無観客開催となり、また、感染症が収束しない状況にあったことから令和3年度末をもって撤退をしたところである。

続いて、計画書の53ページ、資料①の5ページ目をご覧ください。

基本方針5の創業しやすい環境の整備では、創業希望者への支援、創業機運の醸成、産学民官連携の推進を主な取り組みとして、その施策としては、創業支援事業、習志野市中小企業資金融資制度、起業家創出・育成、再チャレンジ支援講座、産学官連携事業等を実施している。

成果指標①「設立法人数」は、感染症や物価高騰の影響により、経済動向が不透明となり、創業控えが発生しているものと思料される。

続いて、計画書の58ページ、資料①の6ページをご覧ください。

基本方針6、働きやすい環境づくりでは、安心して働ける環境づくり、安全で健康に働ける環境づくり、労働者への支援を主な取り組みとして、その施策としては、労働・雇用制度の周知・啓発、退職金共済制度等の普及・啓発、優良な事業者や取り組み事例の紹介、各種表彰・認定・登録・認証制度の周知、事業所に対する壇上共同参画に関する啓発、子育て支援先端企業認証制度の推進、くるみん認定制度の推進等を実施しているところである。

成果指標①「からだの健康づくりに取り組んでいる企業」および成果指標②「こころの健康づくりに取り組んでいる企業」については、平成30年度以降に健康意識調査の実施が無いため、現状では数値はお示しすることができないが、次回調査は令和6年度を予定していると伺っているところである。

成果指標③「余暇時間の確保に取り組んでいる企業」は、すでに目標値に到達している状況である。また、成果指標④「福利厚生が充実ができていない企業」については、優秀な人材の確保、社員のモチベーション向上が見込まれるものの、経費や管理の負担があり、取り組みの進展が図れていないものと考えている。

続いて、計画書の63ページ、資料①の7ページをご覧ください。

基本方針7の就労・雇用機会の拡大では、求職者への支援、人材の確保、近隣自治体等との広域連携を主な取り組みとして、その施策としては、キャリア教育の推進、求職者と企業とのマッチングの推進、再チャレンジ支援講座の実施、障がい者・高齢者・ひとり親の就労支援、就労・雇用支援セミナー等の開催、ふなばし地域若者サポートステーション事業等を実施している。

成果指標①「有効求人倍率」は、感染症や物価高騰の影響があるものの、令和2年度については、年度当初から年度末にかけて、ゆるやかに回復している。しかしながら依然として求人が求職を下回っている状況にある。

また、成果指標②本市の「完全失業率」については、国勢調査から引用しているため、現在数値把握ができていないが、成果指標③千葉県の「完全失業率」は、令和2年度に2.8%から2.5%に改善されたと国から聞いている。物価高騰の影響により、今後も改善に時間を要するものと国での発表があったところである。

続いて、資料②、A3のものになるが、こちらについては、令和2年度から4年度のものを示し、記載させていただいている。この新型コロナウイルス感染症および物価高騰等に対応するために、新たに各年度で打った施策である。上から順に説明させていただく。

令和2年度には、新型コロナウイルス感染が流行・拡大しつつある中、業績等の悪化、影響を受けた中小企業者に対して、経営支援金を上限30万円として貸し付けを63件の事業者等を実施したところである。

続いて、中小企業振興事業には、信用保証料に対する補助、事業者が資金調達をされる際に市制度融資を利用するにあたっては千葉県信用保証協会の保証を受けて、保証料をお支払いいただいた中で、融資が受けられるという形になっている。この千葉県信用保証協会に市制度融資を受けの際にお支払いする信用保証料を全額または一部を支援させていただいているところである。ただ、こちらはコロナ禍という中で、限定的にはなるが、セーフティーネット保証料ということで、20%以上の減収があった場合、市から認定を受けていただき、その後開業を行った者について、信用保証料の補助を行ったという状況になっている。

続いて、商店街協同施設管理事業。こちらについては、商店街の管理している街路灯の電気料を補助させていただいたところである。これまでも、商店街の街路灯については約1/2、通年で補助していたが、エネルギー価格高騰という部分もある中で、商店街が負担していただいている残りの1/2の部分も今年度に関しては補助をしており、ほぼ全額、補助している状況となっている。

続いて、地元のちから復活応援事業。地元のちから復活応援金の給付だが、こちらは対前年同月比で15%以上50%未満の減収となった市内中小企業者等に対して20～50万円の支援金を交付させていただいた。対象事業者としては474件となっている。

また、プレミアム付き商品券事業も実施したところであり、約1億円を準備し、販売としては99,940,000円、このうち利用していただいたのが99,663,000円。利用率としては、99.7%ご利用いただいたという状況になっている。

続いて、キャッシュレス還元キャンペーンについては、電子決済の推進により、新しい生活様式の浸透を図るために実施させていただいた中で、NTTドコモのd払いを活用して実施した事業となっている。

続いて、飲食店緊急対策支援金の給付である。コロナ禍では一番大きな影響を受けたのは飲食店かと。そこで、市内飲食店事業者については216件、感染症防止対策に要した経費の支援をしたところである。

次に令和3年度になる。こちらは、地元のちから事業継続応援事業ということで、3つの施策を実施した。

まず、地元のちから事業継続応援給付金の給付について、前年の月平均売上高と比較して15%以上減少した市内中小企業者に対して、596件になるが、一律20万円を給付させていただいた。

また、これを上回る支援金の給付としては、5人以上の従業員を雇用している市内中小企業者、209件に対して、期末の従業員数に応じた支援金5～50万円になるが、給付させていただいたところである。

また、キャッシュレス還元キャンペーンの実施については、先ほどご説明した令和2年度の事業と同様の内容で実施したところである。

続いて、令和4年度。都市農業支援事業として、都市農業支援の補助金を行った。物価高騰に対する農業資材等の購入費の一部を補助し、市内農業者への支援を実施したところである。

産業振興課事務費としては、経済動向調査の実施。こちらは、これまでなかなか実施できていなかった市内の事業者に対して直接調査をかけ、現状、業況等についてアンケートを実施したものである。こちらについては、次期計画を策定するにあたって資料として今後、お示しさせていただければと考えているところである。

また、中小企業振興事業としては、信用保証料に対する補助を実施させていただいた。令和2年度の物とほぼ同様になるが、先ほどは売上高の減少があった市の認定を受けている事業者に対しての融資の際の信用保証料の補助となっていたが、令和4年度については、市融資制度を活用した場合については、全てに信用保証料の補助を実施するという形で進めさせていただいたものである。

また、商店街協同施設管理事業については、令和2年度と同様、商店街の街路灯の費用をほぼ全額、費用負担を支援させていただいたところである。

続いて、地元のちから活性化事業。こちらについては、プレミアム付き商品券事業の実施という形になる。こちらは令和2年度にも実施しているところだが、令和4年度については、紙商品券だけでなく、スマートフォン・タブレットを活用した電子券の2種類を発行して販売を行った。販売額面としては、171,738,000円。利用額としては、170,639,939円。利用率は99.3%となっている。

最後になるが、中小企業者事業継続支援金の給付については、令和3年4月から9月、令和4年4月から9月、この期間を比較して、対前年同月比で増加した市内中小企業者等336件に対して最大20万円の給付をさせていただいたところである。

こちらが、令和2～4年度に行った施策を含めた計画の現状値の報告となる。

【竹谷会長】

それでは、事務局から説明があったことについて、皆様からの御意見・御質問を伺う。

なお、御質問等については随時、事務局からお答えいただきたい。

また、本日は先ほども御紹介のあった習志野商工会議所からもオブザーバーとして出席しているの、御質問・御意見をいただければと思う。

それでは、御質問・御意見ある方は挙手をお願いします。熊本委員どうぞ。

【熊本委員】

資料の見方を教えていただきたい。「基準値」というのはどういった値なのか。

【事務局／大竹課長】

基準値については、計画策定時点の数値である。

【熊本委員】

それをベースに考えているということによいか。

【事務局／大竹課長】

そうである。

【熊本委員】

もう一つ、目標値というのは、どういう基準で定められたものなのか。

【事務局／大竹課長】

目標値については、成果指標、中間指標といろいろ複数あるが、産業振興計画の79ページ、こちらに目標設定値の理由と算出方法については示させていただいているので、ご確認いただきたい。

【竹谷会長】

他に何か御意見ある方は。川村委員どうぞ。

【川村委員】

観光振興の事になるが、他の市町村も映画やドラマ撮影誘致をされているかと思うが、習志野がクローズアップされているというところが意外にも現状42回という数値で、参考にどんなものがあつたか教えていただきたい。

【事務局／小野瀬係長】

直近のドラマ撮影というところでは、令和元年度は、「ドクターX」というドラマがあり、その病院のシーンを市役所のグランドフロアから1階の大きな階段のところ撮影したというのがある。他には、少し遡るが大河ドラマの「西郷どん」で、市内大久保にある八幡公園を使用したり、茜浜緑地を使用したりしたというところがある。

【川村委員】

いろいろと観光で『こういうところが撮影で使用されましたよ』と PR していくとまた良いのではないか。習志野はなかなか観光というところでは日帰り、素通りになってしまいがちで、人を泊めるということも結構大切なことだと思うので、積極的に何か発信していくのも良いのではないか。

例えば、富里市の商工会にお邪魔したことがあるのだが、富里市は徳洲会病院があり、そこはドラマ撮影専門の病院になっているくらいである。そういったような、聖地巡礼ではないが、人（観光客）がやってくるということであった。なので、そのような部分を積極的に発表していく等、制作側との問題はるかと思うが、あってもいいのかなという感想である。

【竹谷会長】

他に何か御意見ある方は。 今井委員、どうぞ。

【今井委員】

資料②のコロナの影響に伴い実施した事業について、これはコロナが無ければ予定していなかった、考えていなかった事業であるのか。

【事務局／大竹課長】

コロナの影響により、地域経済が回っていない、もしくは事業者が厳しい状況にあるという中で実施した事業である。

【今井委員】

これは非常時の対応という意味合いでの事業で、成果を客観的に示すのは難しいかと思うが、結果としてこういうことを実施したから、こんな成果が出たよ、という事例、ケースとしてはあるのか。

【事務局／大竹課長】

今井委員からご指摘いただいたように、実績としてはお話をさせていただいたが、具体的にどう成果が出たかというのはなかなか難しいところである。ただ、そういった中で、商品券事業を実施した際には、『商品券をやってくれたのでよくお客さんをお呼べたよ』という事業者からのお声を1つ、2ついただけたという状況である。

【今井委員】

こういった取り組みが、計画の目標値に対して、直接的にはないにせよ、間接的に何らかの影響を及ぼしていると理解する。

【竹谷会長】

他に何か御意見ある方は。 上田委員どうぞ。

【上田委員】

資料①の4ページ、主な取り組み②「地域資源の活用」の②習志野ソーセージを販売・提供する行事数が現状3件ということで、私も無知で、習志野といったらソーセージというのはあまり把握していなかったが、こういう大きな売りの商品があるのだったら、我々も総武地域でメーデーなど行事等々あるのでコラボレートしながら『こういう商品が習志野市にあるんだよ』ということを発信していけたら、やはり販売数も伸びていくと思うので、我々もそういったところで発信力をもって習志野市の発展に協力していきたいと思うので、またそういうことがあれば情報共有してやっていければなど考える。

【竹谷会長】

他に何か御意見ある方は。 金子委員お願いします。

【金子委員】

今日は事務局がまとめたものを報告という事がメインということでよろしいか。

先ほど、結果どうだったのか、といった評価の部分が今井委員からも出ていたが、比較になるような報告になっていないものであるから、やった結果どうだったという意見は、事務局としてはアンケート等取ったものはないという認識でよいか。

というのは、これからこれを基に、次年度は同時並行で計画を作っていくということをお聞きしているのだが、今日の資料をどう分析したらよいのかなど。この基準値から数値がどうなったかというのが正直読めないで、なにか物差しになるようなまとめがあるといいかなど今日は聞いていた。

【事務局／大竹課長】

本日は報告という形で、今後策定にあたっては、別途それぞれ資料や数値をお示しする等、調査結果やアンケート結果をお示しさせていただいた中で、進めさせていただきたい。

今日はあくまで、報告という形で受け止めていただければありがたい。

【事務局／根本部長】

今ほど、課長がご説明させていただいたことに補足させていただく。

まず今回、現状ということでお示しさせていただいたのが、先ほど熊本委員からも御質問があったが、今現在の計画、こちらの目標値というものが令和7年度の計画終了時にどのくらいになっているかというものの中間的な現状を捉えていただければと思っている。

また先ほどもあったが、一つ例で申し上げると、計画の79ページをご覧いただきたい。

この中にある一番下、主な取り組み③資金調達の支援のところをみていただくと、目標設定理由・算出方法等で記載させていただいているが、例えば令和元年度の実績、こちらを基準値として、融資実績が今後、経済情勢にどのくらい左右されるかを将来数値として、縮小していくことも踏まえた中で、どのくらいになっていくかという見込み数値を立てさせていただき、最終年度の目標値というものを設定させていただいているという形でご理解いただければありがたい。

したがって今、金子委員から御質問いただいたように、現状これを事務局としてどのように捉えているのかということについては、現在も実施しているが、経済動向調査を実施しているので、この数値と計画上の数値がどの程度乖離があるか、あるいは近づいているのかというものをまとめた中で、計画最終年度に御報告という形でまとめさせていただければと考えている。

【竹谷会長】

他に何かある方。 山岸委員どうぞ。

【山岸委員】

今の話に関連して、目標値について、令和7年度の完成に向けての現在の進捗であるということは理解したが、こちらの進捗の状況として途上であるようなものと、おそらくコロナ等があって完全に停滞してしまっているものがあるかと思う。

また、社会情勢の変化によって取り組み自体が難しくなったというもの、その辺りが少しわかるようになっていると大変ありがたいかなと思う。

実際に目標値に近いと書かれているものが、目標として達成しているものなのか、というのがこれだと実際には少しわかりにくかったので、ここにそれが追加できれば良いかなと思う。

それともう一点、こちらの資料②について、こちらは先ほども質問されていて重複するが、これは基本的には産業振興計画には記載されていなかった事業がこちらに記載されているという事の認識でよろしいか。こちらだけお金の話が出ていて、そこがまた分かりづらいかなと。

資料①の方は、物価高騰等の話が出てきたが、こちらはコロナ等の話よりも継続して課題となってくる事柄なのかなと思うが、これをどのような形で評価していくものなのかお示しいただければありがたい。

【事務局／根本部長】

山岸委員がおっしゃるとおり、資料②については、現在の産業振興計画を策定した時には予測ができなかったものとして、計画上の平時の事業としてできなかったことという形でお示しさせていただいたものである。

したがって、計画とこちらの資料②の内容を見比べた中で、計画にどの程度の反映、影響があったのかという物差しには使いづらいのかなということは存じている。繰り返しにはなるが、現状見込めなかったものを現在の中間報告という形でお示しさせていただいたのがこちらの資料②となる。

私どもが現在、経済動向調査を1年度分が終わり、現在2年度分の半分、上期分の調査が終わっているので、その内容を見た中で、実際の計画上の各事業の進捗がどのような、コロナがどのような影響を及ぼしたのかというようなところも、次回には速報値という形でお示しができればなと思っている。したがって、今現在では、大変申し訳ないが一つの目安として捉えていただければありがたい。

【竹谷会長】

他に何かある方。よろしいか。

特に無いようなので、本件に係る質疑は終了とする。事務局から何かあるか。

それでは、これをもって報告は終了とする。

なお、会議終了後であっても、意見や質問をお受けいただけるとのことであるため、委員の皆さんにおいては、ぜひ積極的に申し出いただければと思う。

事務局は、委員の皆さんからの意見や評価を十分に活用し、次期計画の策定作業を進めていきたい。

(7) その他について

【竹谷会長】

それでは最後に、「その他」として、事務局から連絡等願います。

【事務局／大竹課長】

本審議会について、御連絡させていただく。

本審議会については今年度、3月末までは今回1回のみと考えている。令和6年度中には、4回の開催を考えている。開催時期としては、まず5月頃、第1回目を実施させていただき、その後3カ月ごとの開催を見込んでいる。ただ、委員の皆さんのお仕事や御都合があるので、スケジュールを十分確認させていただいた中で、開催日を決定して参りたい。

【竹谷会長】

本日の日程は以上となる。何か御意見、御質問等はあるか。

金子委員どうぞ。

【金子委員】

今日はお疲れ様でした。来年度は4回あると、1回だけではないとの事。次回は皆さんの意見を承ると、いろいろと具体的な意見が言える回になるのだと思うので、大変期待している。

そして、私は実は8年前に委員として、産業振興基本計画にも携わったかと。その際に、自分たちで「習志野観光振興プラン」というものを実は途中で出している。事務局へそのように上げていかないと、次年度の振興計画に反映されない。しいては、この計画に載らないと行政は動けない、いう事になるので、観光の話等、委員の独自の意見で良いと思うので「私はこれを、ぜひこの計画の中で何年かで実施して欲しい」とか、こういった意見を出していけば事務局もまとめやすいのではないかと考える。

それと、竹谷会長に正月早々、すごいことを聞いた。それは何かというと『習志野は10年後には【世界の習志野】になる。』と。そんなイメージ像を、聞いたときにすごいなど。産業の魅力、他にも習志野には音楽など色々な魅力、そういうようなものを発信していくことが結果的にインバウンドにもつながる。インバウンドは目的ではないが、習志野市では特に「まちづくり」という事

がつかないと産業として成り立っていかない。老婆心ながら、意見として。

ぜひ、皆さんも自分たちが「こういう習志野市にしたい」というような事を次回にはお持ちになって、今日のたたき台の資料、たくさんご報告いただいたので、自分たちがこういうことを大切にしていきたい、というものを皆さんも何かしらお持ちだと思うので、ぜひ次回御意見をいただきたい。

今日は報告という事だったので、今日はむずむずして解散となると思うがぜひ次回、事務局は引き出してほしい。よろしく頼む。

【竹谷会長】

他に何か御意見、御質問等はあるか。無いようなのでこれをもって、令和5年度第1回習志野市産業振興審議会の会議を閉会する。ありがとうございました。

議事録署名人 _____

議事録署名人 _____